

2020年9月吉日

映画を「語り合う」「書く」

#映画レビューサロンvo.1

深田晃司監督を読み解く

ミニシアターファンの中には、映画について誰かと語り合いたいと日頃から思っておられる方がおられるでしょう。しかし、友人とは、相手の趣味に反対するのとも思っておりあまり深い思いを口にできないし、かと言ってすごく趣味を合う友人なら良いかという、そういう人とは、「そうそう」とわかりあってしまうとそれ以上深い話にならない、と、どこか物足りない気持ちになりやすいものです。そういった方のために「映画レビューサロン」を始めます。このタイトルには二つの意味が込められています。まず、「語り合う」こと、映画を題材に時間を共にすることを目的にする会です。ただそこに「映画レビュー」という言葉がついています。「映画レビュー」とは、映画を見て、その内容について、自分の感じ方、考えを踏まえて、文章で人に伝えることです。レビューを書くためには、映画をよく観て、自分がどう感じ、どう考えているのかを言葉にする作業が必要です。文章を書く作業をすることで濃い「語り合う」時間となる、あるいは逆に「語り合う」ことで書く内容が見えてくるという相互作用が生まれます。つまり、この「サロン」には「語り合う」ことと「書く」ことの両方が含まれています。

本企画では当館で上映する映画の監督を題材にします。今回の題材は、深田晃司監督による最新作『本気のしるし』（2019年 元町映画館にて10/17公開）です。深田監督は『ほとりの朔子』（2013）、『よこがお』（2019）など、次々と話題作、問題作を世に送り出し、『淵に立つ』（2016）では第69回カンヌ国際映画祭にて「ある視点」部門の審査員賞を獲得するなど、様々な国際映画祭で作品が上映され評価されています。ファンの方も、全く作品を観たことがない方も、この機会に「深田晃司とは？深田晃司作品とは？」を巡って語り合いませんか。講師は参加者とのディスカッションにも参加し、監督を理解するヒントになるお話やレビュー執筆のサポートも行います。



講師：森年恵



講師：森茂起

<講師プロフィール>

森年恵

略歴 兵庫県西宮市生まれ。英国ブリストル大学女性学修士、英国レディング大学映画学修士。映画学専攻。甲南大学文学部非常勤講師。共著に『トラウマ映画の心理学』（森茂起・森年恵、新水社）、論文に、“All for money: Mizoguchi Kenji's Osaka Elegy.” in Japanese Cinema Texts and Contexts, Routledge、「マキノ雅弘監督『色ごと師春団治』をめぐると一考察」（甲南大学紀要 心の危機と臨床の知17）、「深夜アニメのトラウマ構造：最終戦争の破局は回避さ

れるのか」共著（甲南大学 紀要心の危機と臨床の知 21）、他。

森茂起

略歴 兵庫県神戸市生まれ。京都大学教育学部教育方法学（臨床心理学）修了。博士（教育学）。甲南大学文学部教授。主な著書に、『トラウマの発見』講談社、『＜戦争の子ども＞を考える』（共編著）、平凡社、『フェレンツィの時代 精神分析を駆け抜けた生涯』、人文書院、他。

【講師より】

この企画は、2020年に第一、二回が開催された「#映画レビュー入門講座」の経験から生まれました。その講座の経験から、参加者の皆さまがどれだけ映画を愛し、そして「語り合いたい」と思っているかということでした。「入門講座」では映画の基礎知識に始まり、映画の表現を通して映画監督の作家性を考えながらよいレビューを書く練習をしました。今回の「サロン」は、「入門」経験者が、さらに映画について語り合い、レビューを書く経験を積むために参加していただいてもよいし、初心者も歓迎です。「入門」の内容を知っておかないと参加できないような内容にはしませんのでご安心ください。参加されるうちに、もし「入門」を経験した人のレビューや話は一味違うなど感じられたら、今後も開催される予定の「入門講座」に参加されるのもよいでしょう。みなさん、金曜の夜に楽しく笑い豊かな時間を共有しましょう！

<概要(案)>

名称：#映画レビューサロン vol.1

期間：2020年10月23日～2020年11月20日 全3回

場所：Zoom（パソコンやスマートフォンを使って、セミナーやミーティングをオンラインで開催するために開発されたアプリ）

料金：各回1,500円

全回受講の場合は4,000円 第1回講義までに劇場受付または指定口座にお支払い

定員：15名

準備物：筆記用具（ワープロだけでなく、紙と筆記用具もご用意ください）

講師：森年恵(甲南大学文学部非常勤講師 映画学)、森茂起(甲南大学文学部教授 臨床心理学)

主催：元町映画館

申込方法：event_motoei@yahoo.co.jp に必要事項(件名「映画レビューサロン ○回講義」、お名前、年齢、電話番号を添えてメール。受付後、お支払い方法を連絡いたします。

批評をPC上で行うため基本的にネット環境が使えない方は参加不可。※先着順、定員に達し次第終了。

※受講環境について

本講義はアプリケーションソフト、「Zoom」を使用しているオンライン講義となっております。オンライン環境のないお客様は申し訳ございませんがご参加いただけません。「Zoom」はスマートフォンでも使用いただけますが本講義では安定したネット環境、パソコン環境のある方のみを対象とします。あらかじめご了承ください。

Zoomについて <https://zoom.us/jp-jp/meetings.html>

推奨環境

<https://support.zoom.us/hc/ja/articles/201362023-PC-Mac-Linux%E3%81%AE%E3%82%B7%E3%82%B9%E3%83%86%E3%83%A0%E8%A6%81%E4%BB%B6>

<実施スケジュール案>

2020年

10月23日 19:30～21:00：第1回

10月30日 19:30～21:00：第2回

11月20日 19:30～21:00：第3回

<内容>

日時：金曜日 19:30 よりおよそ 90 分(開場：19 時 15 分)

方法：講義および各回 20 分ほどのワークショップあり。

講座内で使用する映像を除き主に Powerpoint を使用。

『本気のしるし』を元町映画館ほか上映劇場で鑑賞。講義期間中に添削用に講師にメールでレビューを送付する。なお締め切り等はサロン内で告知する。

第1回 深田晃司監督の作家性について概観。レビュー執筆のワークショップ。

(第1回と第2回の間『本気のしるし』鑑賞)

第2回 まだまだ深田晃司監督について。深田監督作品についてディスカッション。

(第2回と第3回の間『本気のしるし』レビューの提出)

第3回 提出レビューに関する講師からのフィードバック。ディスカッション。

※ゲスト講師：深田晃司監督

※お題映画について

『本気のしるし』(元町映画館にて10月17日公開)

公式サイト <https://www.nagoyatv.com/honki/>

お問い合わせ 元町映画館:TEL078-366-2636 Mail:info@motoei.com